

H26.11.22 長野県北部を震源とする地震について

(平成26年12月8日13:00現在)

※ _は、更新箇所



【地震の概要】

- (1) 発生日時: 平成26年11月22日 22:08頃
- (2) 震源(長野県北部、深さ5km)、規模(マグニチュード6.7)
- (3) 各地の震度: 震度6弱(長野県長野市、小谷(おたり)村、小川村)
- (4) 死者情報なし(負傷者45名)
- (5) 体制 : 関東地方整備局(本局)は以下の通り地震災害対策本部を設置
 - 非常体制: **平成26年12月8日13時00分 解除**
 - 注意体制: **平成26年12月8日13時00分現在**
 - ・本部(関東地方整備局)、関東技術支部(関東技術事務所)
 - ・道路5支部

【被害状況】

- (1) 直轄国道
 - ・国道18号、国道19号、国道20号点検の結果異常なし
 - ・国道18号 長野県信濃町野尻にて道路に5~10cmの段差を確認し、片側交互通行にて復旧作業を行い、(11/23 03:05)全面開放済み
- (2) 補助国道・地方道
 - ・**補助国道1箇所**、県道3箇所、市町村道24箇所の計**28箇所**で通行止。
 - 国道148号については、12/1崩落土砂及び立木撤去完了。**12/7 仮設防護柵設置完了。**(長野県)
 - 国道406号については、**12/7 16:30 通交止め解除。**(片側交互通行へ移行)

【関東地整のTEC-FORCE(初動以降)対応状況】

- 国道148号白馬村立の間地先および白馬村野平地先、北城地先において災害対策車両(衛星通信車、照明車等)**2台**(延べ13台)により崩落箇所の監視、応急仮復旧の支援中。映像配信を衛星通信車から簡易カメラに2箇所切り替え(12/3)
- 長野県からの要請を受け、一般国道148号の土砂崩落現場(長野県管理、白馬村)の被災状況の確認と復旧作業に関する助言を行うため専門家(独立行政法人土木研究所)、関東地方整備局職員を派遣。(11/24)

【リエゾン(連絡情報員)派遣状況】

- 長野県及び白馬村にリエゾンとして関東地方整備局職員を派遣中。

【あおぞら号ヘリコプターによる緊急調査】

- あおぞら号による白馬村等土砂災害箇所の調査を実施。(11/23)

【TEC-FORCE詳細調査状況】

- (河川班)
 - ①土石流危険渓流の被災状況調査完了。緊急点検説明会開催。(11/28)
- (道路班)
 - ②白馬村村道の橋梁点検(11/29)及び調査・復旧支援(12/3)完了。
 - ③無人化施工機械(遠隔操縦式バックホウ)を白馬村へ派遣し、障害物の一部を撤去。(11/26)
 - ④調査結果に基づく148号災害現場及び野平地区・蕨平地区の現地確認を実施。(12/3)
 - ⑤白馬村村長へ調査結果の報告を実施。(12/4)